

## 廃食用油から未来の燃料へ—モルディブで資源循環モデル構築に挑戦する

### ケイナククリーンが「はばたく 300 社（海外展開部門）」を受賞



ケイナククリーン株式会社（本社：岐阜県恵那市、代表取締役：近江則明）は、このたび経済産業省中小企業庁が主催する「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社（海外展開部門）」を受賞いたしました。

本受賞は、高純度バイオディーゼル燃料「ReESEL」の開発・普及ならびに、モルディブ共和国における廃食用油資源循環事業など、海外展開への取組が評価されたものです。

---

### 全国約 336 万の中小企業・小規模事業者の中から選ばれました

本制度は、革新的な製品・サービスの開発、海外展開、地域経済への貢献など、優れた取組を行う企業を表彰する制度です。

ケイナククリーンは、一般・産業廃棄物処理事業を基盤としながら、地域で発生する廃食用油を資源として活用する循環型事業を展開してきました。

今回の受賞は、社員一人ひとりの日々の業務、お客様や地域の皆様からいただいた信頼の積み重ねによるものです。

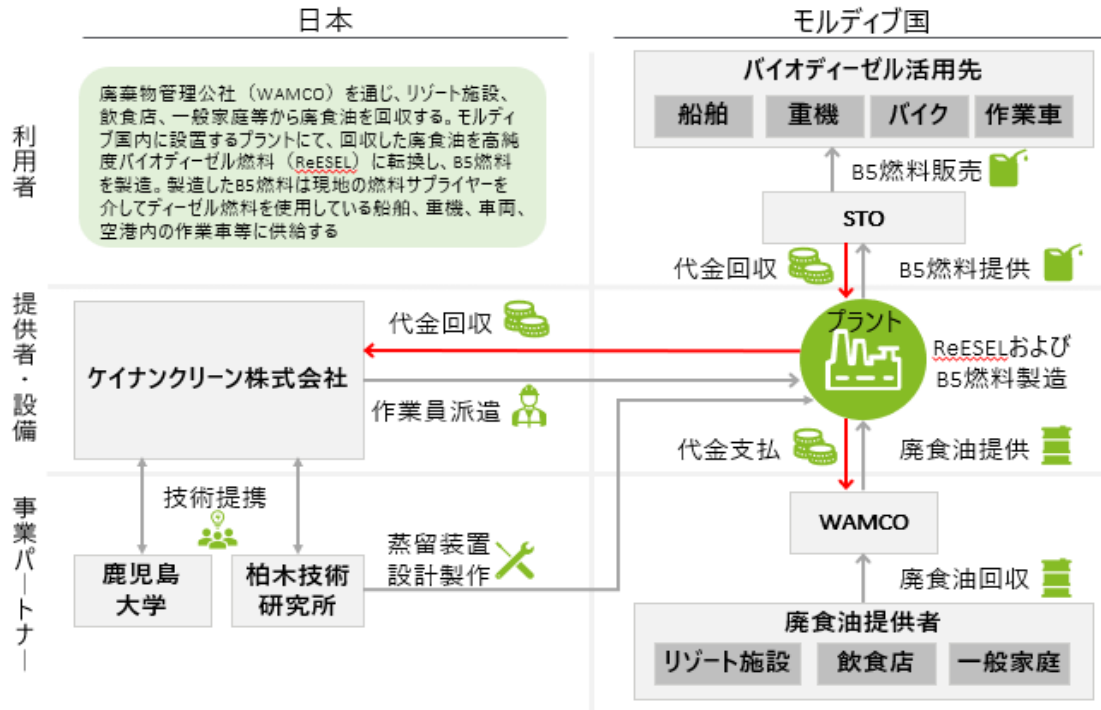
---

# 高純度バイオディーゼル燃料「ReESEL」の開発と普及

## ビジネススキーム図

モノ・サービスの流れ → カネの流れ →

将来的なビジネスモデル



【写真】モルディブ共和国における廃食用油保管状況

ケイナックリーンでは、廃食用油を原料とした高純度バイオディーゼル燃料「ReESEL」を開発・製造しています。

ReESEL は、地域で発生した廃食用油を再生可能エネルギーへ転換し、脱炭素社会の実現に貢献する燃料として、自治体や民間企業での利用拡大を進めています。

「廃棄物を資源へ」という理念のもと、地域資源循環モデルの構築に取り組んでいます。

---

### モルディブで進む資源循環モデル構築への挑戦



【写真】 本社前で社員および地域の少年サッカーチームの皆さんと撮影

現在、当社は JICA 事業を通じて、モルディブ共和国における廃食用油資源循環事業に取り組んでいます。

観光産業が盛んなモルディブでは、多くの廃食用油が発生しています。当社は現地関係機関と連携し、廃食用油の回収からバイオ燃料利用までをつなぐ循環型モデルの構築を目指しています。

地方企業が持つ技術やノウハウを海外へ展開し、環境課題と地域課題の解決に挑戦しています。

---

## 地域から世界へ



今回の受賞を励みとして、ケイナクリーンは今後も地域社会への貢献と環境・資源循環事業の発展に努めてまいります。

地域で培った技術と経験を活かし、地域から世界へ挑戦する企業として持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

---

## 代表取締役 近江則明 コメント

私たちは「廃棄物を資源へ」を理念に、地域で発生する廃食用油を再生可能エネルギーへ転換し、新たな価値を生み出すことに挑戦してまいりました。

このたびの受賞は、日々現場を支える社員、お客様、地域の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今後も地域に根ざしながら、モルディブをはじめ海外への展開にも挑戦し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

現在、モルディブ共和国において JICA 事業を通じた実証活動を進めており、今後は事業化に向けた取組を加速してまいります。

ケイナククリーン株式会社について

会社名：ケイナククリーン株式会社

代表者：代表取締役 近江 則明

所在地：岐阜県恵那市岩村町富田 2 5 3 5 番地の 1

事業内容： ・一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬処理 ・リサイクル事業 ・浄化槽維持管理事業 ・高純度バイオディーゼル燃料「ReESEL」の製造販売 ・環境関連商品の開発販売

【お問い合わせ先】 ケイナククリーン株式会社

TEL：0573-43-4122

E-mail：omi@titan.ocn.ne.jp